

はまY_{OU}



かわいいゆるキャラ達が集合(20周年記念フェスタより)

Vol.
29
2015.春号

CONTENTS

理念・基本方針	2
院長挨拶	2~3
開院20周年記念式典・ イベントを開催	4~6
診察室から～眼科診療のご紹介～	7
各部署から～心理相談室のご案内～	8
介護保険研修会	9
保健看護学部の学生さんが来ました	9
院内研究発表大会	10
病院ボランティア活動が 21周年を迎えました	10
管理栄養士のおすすめレシピ	11
患者様の声	11

循環器外来の診療日が増えました

診療日・時間／受付：月曜日 午後2時00分～午後4時30分
(予約制) 火曜日 午後1時30分～午後4時30分

担当医／なかむら のぶお 医師 さかごし のぶお 医師
中村 信男 医師 阪越 信雄 医師(紀南病院副院長)



薬剤師・看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士 募集中
訪問看護師・訪問リハビリセラピスト

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にした医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみなだいつ
んれでても
しが、も



院長挨拶

～開院20周年を迎えて～

私どもの病院は、1994年の2月1日に産声を上げてから、24時間365日、誰でも困ったときは気軽に受診していただける、地域に根ざした病院として歩んでまいり、今年21年を迎えました。ここまで来られましたのは、ひとえに、平素よりご支援、ご指導、ご協力を賜っております地域の皆様方、紀南病院様、南和歌山医療センター様はじめ、近隣の医療機関、福祉施設の皆様方、そして一緒に精力的に働いてきた職員の皆さんのおかげと心より感謝申し上げます。

さて、一言で20年といいましても、当院開院日に産声を上げた赤ちゃんは成人を迎えるわけです。私も先日、この挨拶の原稿を書くにあたり、20年前の自分の写真をつらつら眺めながら、ほっぺたの肉は垂れ下がりが、白髪頭となって髪の毛は薄くなり、ああ、これが20年というものかとため息をついた次第です。

私ども生きとし生けるものは、この世に生を受けた後は、終焉に向かって齢を重ね、年老いていくばかりですが、私どもの組織はそうであってはなりません。何もしないでいると20年もすれば倦んでしまいます。



白浜はまゆう病院
院長 谷口 友志

倦^うむと、緊張感はなくなり、退廃気運がはびこってしまいます。患者様のお体を預からせていただく業務に携わる私どもは特に肝に銘じて自浄作用を常に働かせ、緊張感を持続していかなければなりません。

私ども自身も、毎年の監査への備え、そして来年にまた控えている5年毎の病院機能評価審査の受審などで常に改善すべきは改善し、新たな緊張感を保つようにしておりますが、やはりどうしても皆様方の平素からのご指摘がなくてはなりません。

今後とも今までと変わらないご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、この20年間。私は3代目の院長ですが、初代の亀井院長の10年間は拡大路線、松尾院長と私の10年間の事業展開は現状維持というところであったかと思います。人生で言いますと最初の10年が成長期、そして次の10年は壮年期であったでしょうか。さて、次に来る20年はどうでしょう。老年期を迎えることはできません。

当地では大都市圏を十数年先んじる少子高齢化が進行しております。今後も人口はますます減少し、また、高齢者人口はもはやあまり増えないでしょうが、64歳以下の急速な減少により高齢化率は更に上昇し続けることが予測されています。私たちの田辺西牟婁医療圏では、今後20年間に、0-64歳の医療需要は40%近い減少となる一方、75歳以上の医療需要は20%近く増加するといわれています。このような将来の大きな人口変動、人口構造の変化を考えると私たちを取り巻く医療事情は大きく変化せざるを得ません。専門的医療を必要とする急性期病床の余剰がすでに言われているこの地方では、現在進められている高速道路を含む交通網の整備と相俟って、病院間の機能的役割分担を推し進めていかないと病院運営は成り立たなくなっていくものと思われます。

これからこのような大きな課題に取り組みながら、当院の将来の方向性を定めていかなければなりません。創立20周年を迎え今一度、設立の理念と基本方針に立ち返り、皆様方のお知恵を賜りながら、地域の皆様が住み慣れた町で健やかに暮らしていける病院作りに一層励んでまいり所存でございますので、どうか皆様、今までと相変わらぬご指導ご鞭撻の程を、よろしくお願い申し上げます。



白浜はまゆう病院開院20周年記念式典を開催



1994年2月に開院しました白浜はまゆう病院は、2014年2月、おかげさまで開院20周年を迎えることが出来ました。これを記念して、2015年2月1日、コガノイベイホテルにて白浜はまゆう病院開院20周年記念式典及び記念講演を開催しました。



社会医療法人財団天心堂 松本文六会長を始め、お世話になった方々へ感謝状贈呈を行いました。

開式後の冒頭で、20年の歴史を振り返るスライドを披露して、ご出席の皆様とともに懐かしく当時を振り返りました。式典では、井瀬誠理事長、谷口友志院長による挨拶につづき、岡谷裕計白浜町議会議員、立谷誠一和歌山県議会議員、松尾清次一般社団法人西牟婁郡医師会会長のご祝辞をいただいた後、財団発足と開院の当初からお世話になった個人及び団体代表の方々へ感謝状を贈呈しました。

記念講演では、白浜はまゆう病院初代院長で、現在、医療法人生寿会理事長・かわな病院院長の亀井克典先生より「地域包括ケア時代の地域医療」についてご講演頂きました。また当財団松尾尾次副理事長からは「地域医療ビジョン・地域包括ケアと白浜はまゆう病院の役割」のテーマで、白浜町の医療を取り巻く現状と将来像、これからの地域医療について講演がありました。



初代院長(現:医療法人生寿会理事長) 亀井克典先生による記念講演も行いました。

ご出席の皆様方から多くのご祝辞をいただき、誠にありがとうございました。これからも地域に根ざした医療機関として、皆様のご期待に添うことができるよう職員一同努力してまいります。

同日、開院20周年はまゆう病院記念フェスタも開催

記念フェスタは皆様に支えて頂き開院20年を迎えられたことに感謝し、地域の病院として、この記念行事を通じて病院職員との交流を図り地域に親しまれる病院、地域から必要とされる病院運営に活かすことを目的に、病院全体・各部署で準備を行い開催しました。

記念フェスタの会場を普段診察やリハビリテーションが行われている場所で開催することによって、新しくなった病院の雰囲気を味わって頂けたかと思います。



お薬相談コーナー



栄養相談コーナー



医療や介護などの各種相談、検査、リハビリテーション体験、正しいマスクのつけ方、DMATの紹介・展示といった各部署の特色を活かしたイベントや卵つかみ取り、輪投げ、○×ゲーム、紙飛行機飛ばしといった来場された方に楽しんで頂けるイベントが行われました。また、はしご車、起震車による地震体験やゆるキャラと

の撮影会なども行われ、たくさんの方にご来場頂きました。



白浜商工会様、
白浜観光協会様、
白浜町役場様の
協力によるゆるキャラ撮影会は、
子供から大人まで大人気でした。



当院DMATからは災害医療用資機材の展示や紹介、衛星携帯電話やトランシーバの通話体験、トリアージタグの書き方の実演などを行いました。

特にゆるキャラ撮影会は大人気でたくさんの人が集まりました。



白浜町保健
センター様による
“まちかど健康相談”



白浜消防署様より
はしご車と起震車の
乗車体験のご協力を
頂きました



看護部によるオムツの
選び方や放射線科による
パネル展示なども行いました



リハビリ室では、
障害者疑似体験、体力測定その他、リハビリ訓練の
体験、嚥下食の展示や試食も行いました。



当日は寒かったため、
温かい豚汁等の配布は大人気でした

地階では食養科と白浜はまゆう病院互助会の協賛で豚汁、おしるこ、コーヒーの無料配布も行われ、イベント当日の寒さもあり、用意された食数が完食とご好評頂きました。

また気候の良い時期に、このようなイベントを開催していけたらと思います。

寒い中、屋外のイベントにも
たくさんの方が参加してくれました。
ご参加頂いた皆様、ご協力頂いた
関係機関の皆様、ありがとうございました。



診察室からのお話



～眼科より-目いっぱいのごあいさつ～

目の神秘に魅せられ、眼科ひとすじ。「関西のおばちゃん眼科医」を続けて参りました。当初、大学派遣で、大阪南部、香川の病院などで、研鑽を積みました。好きな分野は、眼底疾患で、腱鞘炎になりかけるほど眼底写真を撮り、糖尿病や眼底出血のレーザー治療をしました。上司や多くの患者様から、教えられ、鍛えられ、そのうち腰痛持ちになり、手術が腰にこえるようになって、35歳の時、大阪で開業。

二十年以上、開業医を続け、一人一人の患者様と長いおつきあいをする、人体のふしぎな治癒力と、医学の限界と進歩をまざまざと感じます。



眼科のこの三十年の進歩は、わが目を疑うほどです。失明するイメージの強かった緑内障が、検査で初期に発見でき、新薬の開発で、高血圧のように、おつきあいできる病気へ変わりました。白内障の手術も、眼内レンズや手術法が洗練され、痛くなく、日帰り手術も安全性が上がりました。黄斑変性に画期的な治療が導入され、網膜剥離の手術も劇的な発展を遂げています。

白浜はまゆう病院の診療は、非常勤体制で限界もありますが、難しい病気は、病院間連携で、迅速にご紹介できます。新しい知識と、治療にいつも目を光らせて、お役に立てればと思っております。昨年9月より金曜午後診療、数十年前ぶりの病院勤務と電子カルテに、私が目を白黒させていますが、長い目で見て頂ければありがたく存じます。

個人的には、三十年前から白浜の大ファンです。暖かい海で熱帯魚と遊ぶのが趣味なので、五十肩を克服し、夏の白浜でのスノーケリングが楽しみです。

眼科医 いむら りょうこ
井村 良子

プロフィール



略歴 1957年 長崎県生まれ
1982年 宮崎医科大学(宮崎大学医学部)卒業
同年 大阪医科大学眼科研修医
1984年 大阪医科大学眼科専攻医
1988年 日本眼科学会眼科専門医認定
1992年 井村眼科院長(大阪市)
2014年 井村眼科非常勤医師
同年9月 白浜はまゆう病院非常勤眼科医

《診療案内》

	月	火	水	木	金
担当医	—	—	芦田 淳	—	井村 良子

受付時間：水曜日 午後0時～午後2時30分 金曜日 午後1時30分～午後4時30分

各部署から

～心理相談室のご紹介～



新しい本館が稼動し始め、2回目の春を迎えました。心理相談室は旧本館当時は本館2階にありましたが、現在は南館1階、奥側の入り口を入ったところに相談室を設け、活動しております。

カウンセリングという言葉がテレビやラジオ、様々なところで聞かれ、ここに対する関心は年々高まってきているのではないのでしょうか。そういった中、うつ病を主とした気分障害で病院を受診する方は年間100万人を超えるようになっていきます。この理由は様々な言われていますが、それぞれの人に合ったところのケアが必要になってきているのではないのでしょうか。



臨床心理士
森口 浩司



カウンセリング風景

心理相談室では外来でいらっしゃる患者様、入院されている患者様、また、そのご家族の皆様にもカウンセリングを提供させていただいております。それぞれの立場、状況、環境によって、抱えておられる悩みは様々です。

外来カウンセリングでは不安や抑うつなどの精神症状への対処方法や、学校や職場、家庭での人間関係などの悩みといった日常の中に起こる問題について共に考え、その方に合った対処方法を考えていきます。

入院患者様とそのご家族へのカウンセリングでは入院時のストレスへの対応や、できるだけその人らしく過ごせるようにできることを考えていきます。

誰もが悩みを抱えながら生活を送っていると思います。その悩みが大きくなりすぎるとしんどくなってきます。周りの人には話づらいこともあるかもしれません。心理相談室では気軽に相談できる相談室を目指しております。一度、会話をしながら問題を整理するのはいかがでしょうか。

カウンセリング外来のご案内

対 象	中学生以上で言葉でのコミュニケーションが可能な方
受 付 方 法	完全予約制
予 約 受 付	月～水、金曜日 9:00～17:00 電話番号 0739-43-6200(代表)
カウンセリング時間	時間に関しましてはご相談に応じます。

介護保険研修会

地域ケア室では院内の職員が介護保険サービスについて、より理解を深められるよう、2014年10月から月1回、白浜町内のサービス事業所等から講師の先生をお招きして研修会を開催しています。

介護保険は要介護状態・要支援状態の方々の暮らしを支える制度です。

入院前は介護を必要としない方が、退院の際には介護保険の利用が必要となる場合があります。

そうした時、病院全体の職員が介護保険にはどのようなサービスがあり、どのように利用できるかを知っていることで患者様・ご家族様のご不安に対し、スムーズに地域の各機関と連携できると考え、今回の勉強会を開催することになりました。



多くの職員が参加しています

第1回：介護保険制度の概要（地域包括支援センター主任ケアマネジャー）

第2回：調剤薬局の役割と訪問看護（薬剤師、訪問看護師）

第3回：介護保険制度における施設（特養・老健・療養型各施設職員）

第4回：グループホーム、サービス付高齢者住宅（各施設管理者）

第5回：デイケア、デイサービス、訪問介護（各事業所管理者）

地域ケア室では引き続き、外来通院中や入院中の患者様が安心して治療を受け、療養生活を送れるよう、日々、努めてまいります。

保健看護学部 of 学生さんが来ました

梅香る2月23-24日、和歌山県立医科大学保健看護学部の学生8名が、地域医療を支える医療施設と地域の連携の実践や看護職の役割を学ぶことを目的に実習にこられました。若さみなぎる明るく元気いっぱいの8名は、病院や看護部の理念・求める看護師像、地域とのネットワークや連携の現状などの講義を聴いたり、病院内の見学や病棟での看護の実践、また川添診療所では患者さんからの話を聴くなど医療現場の実践を体験されました。カンファレンスでは、“地域でのケアや退院後の生活を支える支援の大切さを学んだ”、“他職種との連携が質の高い医療に繋がる”、“患者の言葉に耳を傾けること



川添診療所にて



カンファレンスの様子

との大切さを改めて感じた”等活発な意見がたくさん出ました。私達もこれからますます地域のために質の高い看護が提供できるよう奮起しなければ…と感じた2日間でした。

2014年度院内研究発表大会を開催

2014年2月14日(木) 18時30分より当院会議室にて院内研究発表大会を開催しました。本年度は、職員のみで開催で、222名が参加しました。

研究発表に先立ち勤続10年・20年の永年勤続表彰を行いました。表彰者は後記の方々になります。



理事長より表彰授与

永年勤続表彰 被表彰者氏名

勤続10年

西富田クリニック所長	西 彰平	本館4階病棟副主任看護師	上岡めぐみ
放射線科診療放射線技師	前田 裕生	本館4階病棟看護師	谷口 美緒
リハビリテーション室作業療法科		本館5階病棟看護師長	新谷 恭子
副主任作業療法士	船渡 勝弘	本館5階病棟看護師	山本 真紀
看護部副看護部長	廣井 啓子	南館4階病棟看護師	寺段 真由
外来看護師	河野 孝子	本館3階病棟准看護師	有田 早紀
外来看護師	津越 良子	本館4階病棟看護補助者	内堀 亜子
外来看護師	堀 伸至	医事課事務員	中田 悦子
本館3階病棟看護師	中山 尚美	訪問看護ステーションたんぽぽ看護師	新田 瑞予

勤続20年

手術室看護師長	田中 美代	南館4階病棟准看護師	谷口 美香
南館5階病棟看護師	前田 富子	南館3階病棟看護補助者	笹本 晃子

第一部 研究発表



1. 当院回復期病棟に入院した脳卒中患者の体重変化とADL改善度の関係
リハビリテーション室 平 和晃
2. 5S活動への取り組み
南館3階病棟 城戸 静香
3. 外来未収金発生と未収金防止対策
医事課 稲毛 彩耶香
4. 2014年度院内腰痛調査～調査対策の検討～ 労働安全衛生委員会 森本 信三
5. 充実した在宅生活を送るために 訪問看護ステーションたんぽぽ 廣田 倫子
6. 婦人科がん検診の勧め
医局 國部 久也

病院ボランティア活動が21周年を迎えました

白浜はまゆう病院ボランティアグループの皆様は、開院当初より活動をして頂いており、病棟のベッドシーツの交換や行事のお手伝い、花壇の整備、受付介助など多岐に渡ってご尽力頂いています。現在は、一部の活動は縮小や休止しておりますが、便取り布のカットや受付介助などで頑張っています。また、患者様・利用者様より、ボランティア様宛に感謝のお言葉も寄せられております。

2015年2月1日の開院20周年記念式典では、日頃の活動に感謝の意をこめて感謝状および記念品の贈呈を行わせていただきました。この場をお借りして改めて感謝を申し上げます。



式典では代表して榎山様に壇上に上がっていただきました。

私たちが
おすすめする

カラダにいい とっておきレシピ

第21回

スナップえんどうと小エビのリゾット

昼間の日差しもやわらかくなり、店頭には緑鮮やかな野菜が並び始めました。

いつもお馴染みの野菜にも呼び名に「春」や「新」がついたりして季節を感じます。

今回は春野菜のスナップエンドウをリゾットにしました。

お米をごはんに変えて作っていただくと時短メニューにもなります、ランチにいかが
でしょうか？



食養科副主任・管理栄養士
尾崎 公子

スナップえんどうと小エビのリゾット



栄養価
エネルギー…483kcal
蛋白質…15.7g
脂質…10.7g
食塩…1.45g
食物繊維…2.1g

材料(2人分)

米……………	1合	酒……………	大さじ1
にんにく……………	1片	スナップエンドウ…	8本
新玉ねぎ……………	90g(1/2個)	固形コンソメ……………	1個
オリーブオイル…	大さじ1	水……………	500ml
白ワイン……………	大さじ1	バター……………	小さじ1
むきエビ……………	80g		

作り方

- ①にんにく、玉ねぎはみじん切りし、スナップえんどうはすじを取っておく、小エビは酒に浸しておく
- ②固形コンソメは水に溶かし温めておく
- ③小エビ、スナップえんどうをサラダ油で塩、こしょうを加え炒め取り出しておく
- ④にんにく、玉ねぎをオリーブ油で玉ねぎが透き通るまで炒める
白ワインを加えアルコールをとばし軽く炒める
- ⑤米は洗わずに④に加える、米が透き通るまで炒める
- ⑥②で温めておいたスープを具材がひたひたになるまで入れ、汁気が無くなるまで弱火で煮込む。好みの硬さになるまで繰り返す
- ⑦⑥に③で炒めた小エビ、スナップえんどうを入れ、軽く炒め混ぜ合わせる
- ⑧好みでパルメザンチーズ、黒こしょうをふる

患者さま からの 声 Voice

A

ご意見ありがとうございました。院外FAXコーナーは当院による運営ではなく、田辺薬剤師会が運営を行っております。ご意見につきましては、田辺薬剤師会に報告し、ご不快を与えないような運営を心掛けたいと思います。ご理解賜りますようお願いいたします。

病院長

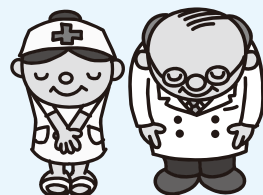
Q

支払い窓口を二箇所にして混雑を防いで欲しい。

A

ご迷惑をお掛けし申し訳ございません。

支払い窓口を2箇所にするには、受付・会計システム設置のスペース確保の問題もあり難しい状況です。自動支払機の導入も検討しましたが、運用面等を勘案し導入を見送った経緯がございます。混雑時の待ち時間対策について、今一度検討させていただきます。 医事課長



電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

※診療担当医が変更になることがございます。ご了承下さい。

2015.4.1 ~

※診療時間外(夜間・休日)に
具合が悪くなったときは、
日時に関係なく受付します
ので、白浜はまゆう病院へ
電話でご連絡ください。



白浜はまゆう病院 ●理事長 井瀬 誠 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】<http://www.hamayu-hp.or.jp/>

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600	FAX.0739(45)3678
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3	TEL.0739(48)0031	FAX.0739(48)1005
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002	FAX.0739(52)4192
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001	FAX.0739(53)0001
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町鹿野1103番地	TEL.0739(54)0037	FAX.0739(54)0037
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 自衛隊医療・保健・福祉	TEL.0739(43)5226	FAX.0739(43)0682

◇2015年3月発行 編集・発行／公益財団法人白浜医療福祉財団